

鷹廣委員（民主県政会）

令和8年3月12日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）今後の高校の受験動向と対応について

令和8年度からの高校授業料無償化の拡充を踏まえ、今後の受験動向をどのように予測しているのか、教育長の所見を伺う。

また、それを踏まえて、選ばれる公立高校に向けてどのように対応するのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

令和8年度からの高校授業料無償化の影響につきましては、来年度の入学状況などから改めて分析を行う必要があると考えておりますが、私立高校授業料の実質無償化開始後の令和2年度以降の状況などを踏まえますと、私立高校を選択する生徒の割合は高まっていく可能性があるものと考えております。

このため、様々なニーズに応え、選ばれる公立高校としていくため、この度の県立高校の再編整備計画の素案では、生徒数が減少する中であっても、全県的な観点から教育の機会均等を確保するとともに、AI等のデジタル技術を活用して、ものづくり等の地域産業の成長を牽引する専門人材や、地域の持続的な発展を支える人材などを育成するため、先進的かつ多様な体験・学びができるよう、学校統合と学科改編を組み合わせた再編を行うこととしており、最先端の学びを実現する公立高校として、一層の特色化・魅力化を進めてまいりたいと考えております。